

ひらかたししょうがいしゃけいかく だい じ ちゅうかんそうかつ み こ ばっすい
枚方市障害者計画(第4次)の中間総括見込み抜粋

しりょう
資料1－3

※今後の方向について
拡充: 取組を発展・拡充させる **現状維持:** これまでの取組を継続する
見直し: 取組の手法や、要件、対象、事業規模などを見直す
終了(完了): 事業目的を達成した取組
終了(休止): 課題等があり、事業を中止している取組

2. 障害者(児)が安心できるまちづくり

2 保育・療育・教育の充実

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しさく きほんもくひょう 施策の基本目標	しょかん か 所管課	しさくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほうこう 今後の方向
(1) 保育・療育・教育の 充実	ほうかご こ 放課後子ども課	かんけいき かん れんけい 関係機関との連携	ほ し ほけん か りょういくき かん 母子保健課、療育機関、 ほ い く じょ えん しょうちえんとう 保育所(園)、幼稚園等か ら小学校、小学校から中 学・高等学校、中学・高等 学校から進学先・就職先、 しゅうしよくき ふくしし せつ 就職先から福祉施設へと はったつしょうがい じどう ふく 発達障害のある児童を含 め障害児童のニーズに応 じた進路の選択が行える よう、庁内及び関係機関と の連携を図ります。また、 らかたししょうがいじどうかんけいきかんれんらく 枚方市障害児等関係機関 かい ぎ しょうがい 連絡会議において、障害 のある児童及びその周辺 の児童(健診等でフォロー 児童等)並びにその家族 が抱える様々な問題に対 して、情報交換、意見交換 等を行い、関係機関の連 携を図ります。支援度合 いが高い障害児や高次脳 機能障害児についても必 要な情報共有を図ってい きます。	しょうがい じどう はったつめん せいかつめん 障害のある児童や発達面・生活面などで気がかりのある児童に対して、スムーズな受け入れや適切な 保育を実施するために、入室前に放課後子ども課が保護者に対して、電話で児童の発達状況を聞き 取りを行った。聞き取った内容は、課内職員、児童会室職員、ブロック(地域)担当と共有を行うとともに、 保護者の了解の下、出身保育所(園)・幼稚園、及び学校等との情報交換を行い、連携を行った。	かくじゅう とりくみ 拡充: 取組を はってん かくじゅう 発展・拡充さ せる

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
し さく き ほんもくひょう 施策の基本目標	しよかん か 所管課	し さくめい 施策名	と く 取り組み	れい わ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほうこう 今後の方向
(1) 保育・療育・教育の 充実	放課後子 ども課	るすかていじどうかい 留守家庭児童会 室運営事業	へいせい ねんど だい がくねん 平成30年度より、第1学年 から6学年まで全学年の 児童の受け入れを行って います。障害のある児童 については、職員の研修 や職員の配置、また学校 との連携等により、保育環 境や支援の充実を図りま す。	るすかていじどうかいしつ 留守家庭児童会室では、障害のある児童等の受け入れにあたり、室全体の運営状況を踏まえて適切 な人員の配置や学校との連携等を行うとともに、放課後の遊び及び生活の場の提供などの支援に取り 組みました。	かくじゆう とりくみ 拡充：取組を 発展・拡充さ せる

3 災害対策

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
し さく き ほんもくひょう 施策の基本目標	しよかん か 所管課	し さくめい 施策名	と く 取り組み	れい わ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほうこう 今後の方向
(1) 自然災害	しょうがいきかく 障害企画 課	かさいよほうてんけん 火災予防点検の 推進	ひとり暮らしなどの重度障 害者世帯を対象とする火 災予防点検事業について は、今後も、対象世帯の 把握に努めるとともに、利 用を促します。また、事業 の周知を図ります。	れい わ ねんど 令和2年度まで、消防署、大阪ガスの協力を得て、事業を実施していましたが、電力自由化により大阪 ガスによる火災予防点検事業は終了となりました。なお、4年に1回義務づけられている各事業者のガ ス設備定期保安点検により、安全は担保されています。	しゅうりよう(かんりりよう) 終了(完了)： 事業目的を 達成した取組

3. 安心して生活できるサービスの確保と提供

1 地域生活への支援

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
し さく き ほんもくひょう 施策の基本目標	しよかん か 所管課	し さくめい 施策名	と く 取り組み	れい わ ねんどまつ とりくみ そうかつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほうこう 今後の方向
(1)福祉サービス提供体制の充実と質の向上	障害企画課	グループホーム	事業者に対し、新規開設等に係る整備補助・運営に係る支援を行い、グループホームの整備促進を図ります。また、世話人の養成講座を実施し、人材の確保・育成に努めます。	令和3年度から「枚方市知的障害者グループホーム世話人によういけんしゅう」の修了者に対し、研修受講料の一部、および市内グループホームに継続就労した際の補助金を新たに設けましたが、実績に乏しく、さらに効果的な取り組みとなるよう、令和5年度からの見直しを図り、世話人の確保に努めました。 ・市内にグループホームを新規に開設、又は定員を増加するための増設をする事業を行うものへ交付される枚方市グループホーム新規開設等整備補助金について、一定の効果は見られましたが、なお重度障害者の受入れが課題として残っていることから、支給要件を見直し、令和5年度から重度障害者の受入れ促進の強化を図りました。 ・生活支援員による共同生活援助の住居で日常生活上の援助を受けた利用者の障害程度に応じ、交付される枚方市グループホーム運営費補助金について、一定の効果は見られましたが、なお重度障害者の受入れが課題として残っていることから、支給要件を見直し、令和5年度から重度障害者の受入れ促進の強化を図りました。	拡充: 取組を 発展・拡充させる

2 緊急時の対応

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
し さく き ほんもくひょう 施策の基本目標	しよかん か 所管課	し さくめい 施策名	と く 取り組み	れい わ ねんどまつ とりくみ そうかつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほうこう 今後の方向
(1)障害ニーズに応じた対応	障害企画課	地域生活支援拠点の整備	相談、一人暮らしやグループホーム等の体験の機会の場合、緊急時の受入れや対応等の機能を有した地域生活支援拠点の整備を進めます。	障害福祉計画(第6期)において、令和5年度末までの設置を目標と掲げている地域生活支援拠点について、毎月開催の枚方市自立支援協議会幹事会及び、枚方市自立支援協議会相談支援部会場で検討を行い、設置に向けて取り組みました。	拡充: 取組を 発展・拡充させる

4.自分らしい生き方をみつける・選ぶ

3 新しい生活様式の実践

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
し さく き ほんもくひょう 施策の基本目標	しょかん か 所管課	し さくめい 施策名	と く 取り組み	れい わ ねんどまつ とりくみ そうかつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほうこう 今後の方向
(3)先進技術による支援ツールの活用	DX推進課	行政サービスの電子申請に向けた取り組み	電子申請により、市民の利便性の向上を図るため、対応可能な業務から順次対応していきます。	令和3年6月より、市の様々な手続きのオンライン化に対応するため、汎用的電子申請サービスを導入しました。軽易な手続きを中心として適用を進める一方で、オンライン手続きに伴う手数料等の支払い、国の電子申請サービスであるぴたりサービスとの連携などの機能拡充を進め、適用手続きのさらなる拡大を図ってきました。 マイナンバーカードの普及拡大を受けて、オンラインでの本人確認手法として活用を図るとともに、年間手続き件数の多い等、特に住民の利便性向上が期待される手続きについては、優先的にオンライン化を進めることとし、市民生活部・健康福祉部・子ども未来部等の市民生活に密着した手続きの所管部署を中心にオンライン化の検討を進めました。	拡充：取組を 発展・拡充させる

5. 身近な相談窓口の充実ときめ細やかな情報提供

1 相談・支援体制の充実

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
し さく き ほんもくひょう 施策の基本目標	しょかん か 所管課	し さくめい 施策名	と く 取り組み	れい わ ねんどまつ とりくみ そうかつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほうこう 今後の方向
(1)相談・支援体制の充実ときめ細やかな情報提供	障害企画課	地域生活支援拠点の整備	相談、一人暮らしやグループホーム等の体験の機会、緊急時の受入れや対応等の機能を有した地域生活支援拠点の整備を進めます。	障害福祉計画(第6期)において、令和5年度末までの設置を目標と掲げている地域生活支援拠点について、毎月開催の枚方市自立支援協議会幹事会及び、枚方市自立支援協議会相談支援部会の場で検討を行い、設置に向けて取り組みました。	拡充：取組を 発展・拡充させる